

親子聖書日課

NO.1879 2024.9/29-10/5

名前

[日]主に依り頼む人は、シオンの山エルサレムのように堅固不動です。主がその人々を取り囲んで守って下さるからです。「主に依り頼む」とは、主の言われることに、「はい」と従うことです。「いいえ」と主に逆らっているのは、幸せになれません。

[月]会堂建築の時、何度も読み、支えられた御言葉です。「主よ、私達のために大きな業を成し遂げて下さい」と祈るなら、「涙と共に種を蒔く」ことです。この種とは、今日頂く糧です。自分を犠牲にしなければ、主の大きな業を見ることはできません。

[火]朝から晩まで働き、多くのことを成し遂げても、「主御自身が建て」「主御自身が守って下さるのでなければ」人生は虚しく、祝されません。努力(Try)ではなく、信頼(Trust)です。まず主の御心を求め、それに従って働きましょう。必ず、祝されます。

[水]祝福された家庭ほど、幸せなことはありません。家族で主を畏れるなら、喧嘩でなく、賛美の溢れる楽しい家庭になるでしょう。「食卓を囲む子ら」とは、霊の糧である聖書を子供と一緒に味わうことです。「オリーブの若木」のように成長します。

[木]イスラエルの歴史は、苦難の歴史でした。しかし、「主は正しい方。主に逆らう者の束縛を断ち切って下さる」ので、救われました。ですから、苦しみに絶望しません。主に助け求めると、主は御言葉をもって慰め、逃れの道を備え、祝して下さいます。

[金]罪に苦しむ時、「もうだめだ」と諦める人はいませんか。しかし、どんなに惨めな状態であっても、主の「豊かな贖い」を待ち望むことができます。それは主の十字架の贖いがあったからです。罪は全て赦されていますから、主を恐れ敬いましょう。



[土]「私だからできた」と、おごる人はいませんか。その人は、主に仕えることが何であるか知らないのです。「幼子のように」なるためには、自分の自信や経験に頼らず、主に全てを信頼して任せることです。へりくだって、主を待ち望みましょう。

	聖書	問題	答え
日	詩編 125:1-5	主にどうする人は、揺らぐことなく、とこしえに座りますか。	
月	126:1-6	何と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れますか。	
火	127:1-5	誰が建てて下さらなければ建てる人の労苦は空しいですか。	
水	128:1-6	何を囲む子らは、オリーブの若木ですか。	
木	129:1-8	主は逆らう者の束縛をどうして下さいますか。	
金	130:1-8	豊かな何も主のもとにありますか。	
土	131:1-3	イスラエルよ、主をどうすべきですか。	
感想と祈りの課題			